

【注意事項】

R20TS1052JJ0100

Rev.1.00

2024.08.05

RX Driver Package,

RX ファミリボードサポートパッケージモジュール

Firmware Integration Technology

概要

タイトルに記載している製品の使用上の注意事項を連絡します。

1. RX ファミリボードサポートパッケージモジュール Firmware Integration Technology (以、BSP FIT モジュール)と以下のツール(以下、スマート・コンフィグレータ)のリアルタイムクロックと組み合わせて使用する場合の注意事項

- ・ e2 studio Smart Configurator プラグイン
- ・ RX スマート・コンフィグレータ

1. BSP FIT モジュールとスマート・コンフィグレータのリアルタイムクロックを組み合わせて使用する場合の注意事項

1.1 該当製品

- (1) BSP FIT モジュール

恒久対策するまでのリビジョン全てが本注意事項に該当します。

- (2) RX Driver Package

恒久対策するまでのリビジョン全てが本注意事項に該当します。

- (3) スマート・コンフィグレータに同梱される BSP FIT モジュール

恒久対策するまでのリビジョン全てが本注意事項に該当します。

1.2 該当デバイス

RX64M、RX651、RX65N、RX66N、RX671、RX71M、RX72M および RX72N グループ

1.3 内容

スマート・コンフィグレータが生成する R_Config_RTC_Create 関数で無限ループする場合があります。

1.4 発生条件

スマート・コンフィグレータの[ソフトウェアコンポーネント設定]で、[リアルタイムクロック動作設定]のクロックソースを[メインクロック発振器]に設定して生成された R_Config_RTC_Create 関数を実行すると、無限ループする場合があります。

1.5 回避策

該当製品に同梱している mcu_clocks.c ファイルの clock_source_select 関数の以下の処理を修正してください。

修正前 :

```
/* Cold start setting */
if (0 == SYSTEM.RSTSR1.BIT.CWSF)
{
    /* Stop the sub-clock oscillator */
    /* RCR4 - RTC Control Register 4
    b7:b1   Reserved - The write value should be 0.
    b0      RCKSEL   - Count Source Select - Sub-clock oscillator is
selected. */
    RTC.RCR4.BIT.RCKSEL = 0;

    /* WAIT_LOOP */
    for (i = 0; i < 4; i++)
    {
        /* dummy read four times */
        dummy = RTC.RCR4.BYTE;
    }
}
```

修正後 :

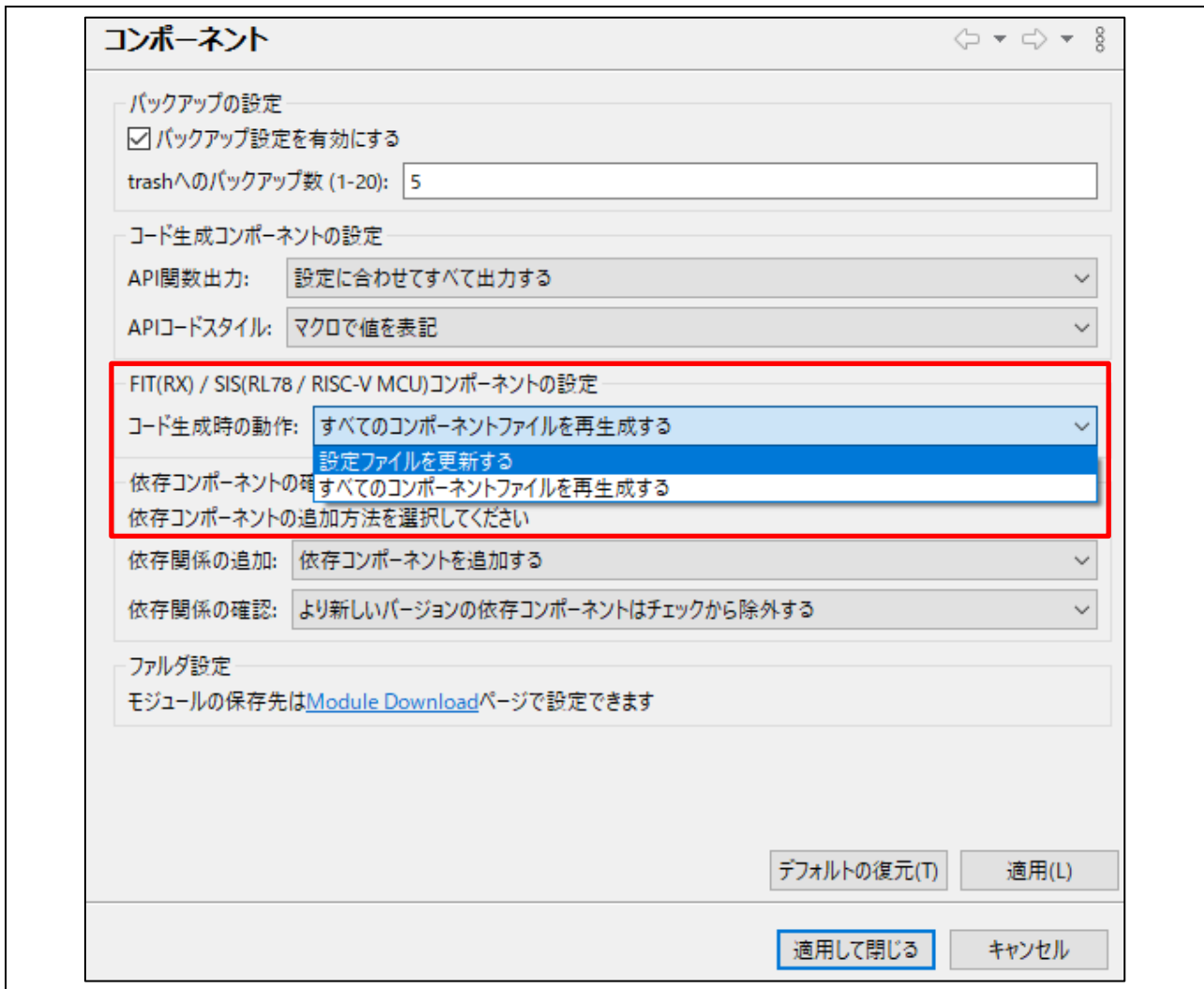
```
/* Cold start setting */
if (0 == SYSTEM.RSTSR1.BIT.CWSF)
{
    /* Stop the sub-clock oscillator */
    /* RCR4 - RTC Control Register 4
    b7:b1   Reserved - The write value should be 0.
    b0      RCKSEL   - Count Source Select - Sub-clock oscillator is
selected. */
    RTC.RCR4.BIT.RCKSEL = 1;

    /* WAIT_LOOP */
    for (i = 0; i < 4; i++)
    {
        /* dummy read four times */
        dummy = RTC.RCR4.BYTE;
    }
}
```

1.5.1 スマート・コンフィギュレータの環境設定に関する注意事項

本注意事項のように直接ソースコードを編集する必要がある場合、スマート・コンフィギュレータのコンポーネント設定ページをご確認頂き、スマート・コンフィギュレータによるソースコードの上書きを回避する必要があります。

コンポーネント設定ページで「設定ファイルを更新する」が選択されていることをご確認ください。コード生成する場合、スマート・コンフィギュレータはプロジェクト内にファイルが存在するかどうかをチェックします。ファイルが存在する場合、そのファイルが上書きされません。ただし、設定ファイル（例：xxx_config.h）はコード生成するたびに更新されます。



- 注. FIT モジュールの Rev を変更した場合、本設定に関わらず全てのコンポーネントファイルが再生成されます。
- 注. コンポーネント画面は RX スマート・コンフィギュレータ V2.21.0 のものになります。

図 1 コンポーネント設定ページのレイアウト

1.6 恒久対策

今後のバージョンで改修予定です。

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Aug.05.24	-	新規発行

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。